※イザヤ 65:17
「見よ。まことにわたしは新しい天と新しい地を創造する。先の事は思い出されず、心に上ることもない。」

※ヘブル 11:24-26
「信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。」

※2 コリント 4:16-18
「ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものにではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」

「歴史を紐解けば、この世に大きな影響を与えたキリスト者ほど、来るべき世界のことを最も真剣に考えていたことが分かります。使徒たち自身も、中世を築いた偉大な者たちも…彼らはいずれも、心を天に向けていたがゆえに、この地上に確かな足跡を残したのです。」(CS ルイス)

○『新しい天と新しい地』：約束を守られる主にある“将来の希望”

1. **見たことのない＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が与えられる(1)**

▶「新しい」

※ローマ 8:22
「私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。」

▶「もはや海もない」
※イザヤ 57:20
「しかし悪者どもは、荒れ狂う海のようだ。静まることができず、水が海草と泥を吐き出すからである。」

※黙示録 12:17-13:1
「すると、竜は女に対して激しく怒り、女の子孫の残りの者、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかしを保っている者たちと戦おうとして出て行った。そして、彼は海べの砂の上に立った。また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。」

※黙示録 20:13
「海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。」

「地上に宝を蓄える者は、その宝から遠ざかる人生を生きています。彼にとって、死は失うことです。けれども天に宝を蓄える人は、永遠を見据えて生きています。その人は日々、自分の宝へと近づいています。彼にとって、死は益です。宝に向かって生きる人には、喜ぶ理由があるのです。あなたは絶望しているでしょうか？それとも喜んでいるでしょうか？」(ランディーアルコーン)

2. 神様と共に住む_____が与えられる(2-3)

※黙示録 3:12
「勝利を得る者を、わたしの神の聖所の柱としよう。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上にわたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書きしるす。」

※詩篇 73:28
「しかし私にとっては、神の近くにいることが、しあわせなのです。…」

※2 コリント 5:8
「私たちはいつも心強いのです。そして、むしろ肉体を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っています。」

3. _____が与えられる(4)

※創世記 7:23
「こうして、主は地上のすべての生き物を、人をはじめ、動物、はうもの、空の鳥に至るまで消し去った。それらは、地から消し去られた。ただノアと、彼といっしょに箱舟にいたものたちだけが残った。」

「クリスチャンは、この世で最も満ち足りた人である。しかし、この世に対しては、最も満足していない人でもある。彼は宿屋に滞在している旅人のようなものだ。宿屋としての快適さには十分満足しているが、そこを自分の家にしようとは、少しも考えない。」(チャールズ・スポルジョン)